

# 全国「道の駅」連絡会設立総会及びシンポジウムが開催されました！！

道路環境課

### 全国「道の駅」連絡会発足

平成24年12月17日（月）、「道の駅」を設置する全国の市町村及び関係者（国・県・道の駅の駅長等）350人が岩手県遠野市の「あえりあ遠野」に参集し、『全国「道の駅」連絡会』設立総会が開催され、会長に本田敏秋遠野市長が就任しました。

### 全国「道の駅」連絡会の設立目的

全国「道の駅」連絡会は、「道の駅」に関する情報交換、相互の連携などにより、「道の駅」の質の確保や向上を図り、もって各地域の地域振興及び利用者サービスの向上に寄与することを目的に設立されました。

### 全国「道の駅」シンポジウム in 遠野の開催

「道の駅」は、制度が創設されてから20年が経過し、全国で約1千駅設置されています。ドライバー等の「休憩」、「情報発信」、「地域連携」の3つの機能を併せ持ち、東日本大震災津波では、「防災拠点」としても重要な役割を果たしました。

このような中で、本シンポジウムは、これからの「道の駅」が担うべき役割について再認識を行い、新たな方向性を定めることを狙いとして開催されました。

### 【全国「道の駅」連絡会会長あいさつ】（要旨） 本田敏秋遠野市長

1,000近い全国の道の駅が、ネットワークで結ばれることになりました。

それぞれの市町村長、関係機関団体が情報共有し、課題を共有することで、県や国と連携して地域づくりに取り組んでいきます。



### 講演「道の駅と地域振興」（要旨） 芝浦工業大学大学院 谷口博昭教授

「道の駅」は、文化や情報の交流拠点として活用することで防災機能の強化を図ることができ、また、地域の食材を活かした食糧備蓄を行うことにより、平常時も緊急時にも対応可能となる。

「道の駅」と日本風景街道との連携を進めることにより、広域的な地域連携が可能となる。

